

# 株式会社電算 2014年3月期 決算説明会資料

2014年6月10日

(東証一部 証券コード3640)

[www.ndensan.co.jp](http://www.ndensan.co.jp)

<b>I. 2014年3月期 決算</b>	<b>1 ページ</b>
<b>II. 2015年3月期通期 業績予想</b>	<b>5 ページ</b>
<b>III. 現在の取り組みと今後の状況</b>	<b>7 ページ</b>
<b>IV. 株主還元</b>	<b>16 ページ</b>

# I 2014年3月期 決算

II 2015年3月期通期 業績予想

III 現在の取り組みと今後の状況

IV 株主還元

**売上高** 125億80百万円(前期比 9.0%減)  
**営業損失** 2億16百万円(前期は 6億42百万円の営業利益)

● 公共分野

総合行政情報システム・情報系システムのリプレイス導入を実施。  
例年と比較して法制度改正によるシステム改修対応が少なく、また  
価格競争による利益率の低下等により減収減益。

● 産業分野

医療機関向けシステム及び介護関連システムの受注は順調に  
推移、またデータセンター(※)では新サービスの提供を開始したが、  
価格競争の激化、原価超過案件の発生により減収減益。

● 全社

次期総合行政情報システムの研究開発への投資や人材育成への  
投資の増加

# 2014年3月期 損益計算書

	2013年3月期		2014年3月期		増減	
	金額 (百万円)	利益率	金額 (百万円)	利益(損失) 率	金額 (百万円)	率
売上高	<b>13,824</b>	—	<b>12,580</b>	—	<b>▲1,243</b>	<b>▲9.0%</b>
営業利益 (△は損失)	<b>642</b>	<b>4.6%</b>	<b>△216</b>	<b>△1.7%</b>	<b>▲858</b>	—
経常利益 (△は損失)	<b>666</b>	<b>4.8%</b>	<b>△188</b>	<b>△1.5%</b>	<b>▲854</b>	—
当期純利益 (△は損失)	<b>444</b>	<b>3.2%</b>	<b>△424</b>	<b>△3.4%</b>	<b>▲868</b>	—

# 2014年3月期 セグメント別損益(営業利益)

		2013年3月期	2014年3月期	増減額	増減率
公共 分野	売上高 (百万円)	9,390	8,304	▲1,086	▲11.6%
	営業利益 (損失) (百万円)	829	△308	▲1,138	—
	営業利益 (損失)率 (%)	8.8%	△3.7%	—	—
産業 分野	売上高 (百万円)	4,433	4,276	▲156	▲3.5%
	営業利益 (百万円)	90	88	▲1	▲1.6%
	営業利益率 (%)	2.0%	2.1%	—	—

# 2014年3月期 業務の種類別損益(売上総利益)



		2013年3月期	2014年3月期	増減	
				金額	率
情報処理・ 通信サービス	売上高(百万円)	2,815	2,774	▲41	▲1.5%
	売上総利益(百万円)	725	648	▲76	▲10.5%
	売上総利益率(%)	25.7%	23.4%	▲2.3pt	
ソフトウェア開発・ システム提供 サービス	売上高(百万円)	5,867	4,815	▲1,052	▲17.9%
	売上総利益(百万円)	2,115	1,778	▲337	▲15.9%
	売上総利益率(%)	36.1%	36.9%	+0.8pt	
システム機器 販売等	売上高(百万円)	3,393	2,993	▲339	▲11.8%
	売上総利益(百万円)	668	571	▲97	▲14.5%
	売上総利益率(%)	19.7%	19.1%	▲0.6pt	
その他関連 サービス	売上高(百万円)	1,746	1,996	+249	+14.3%
	売上総利益(百万円)	582	626	43	7.5%
	売上総利益率(%)	33.3%	31.4%	▲1.9pt	

I 2014年3月期 決算

## II 2015年3月期通期 業績予想

III 現在の取り組みと今後の状況

IV 株主還元



**売上高** 135億円（前期比 7.3%増）  
**営業利益** 2億4千万円（前期は2億16百万円の営業損失）  
**当期純利益** 1億7千万円（前期は4億24百万円の当期純損失）

#### 公共分野

- 提携パートナー経由の全国への販売拡大
  - ・パートナーの新規開拓と既存パートナーとの提携強化
- ジャパンシステム(株)の財務会計システムをOEM販売しシェア拡大
- 次期総合行政情報システムの開発

#### 産業分野

- 既存システムの更なる拡販
  - ・地銀系リーズトータルシステム
  - ・医療系システムは、中規模病院から大規模及び小規模病院へ展開
- データセンターサービスの拡販
  - ・クラウド(※)バックアップサービス(DataStore)
  - ・新クラウドサービス(AirCloud)

	2014年3月期		2015年3月期(予想)		増減	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	率
売上高	12,580	—	13,500	—	919	+7.3%
売上総利益	3,624	28.8%	4,691	34.8%	1,067	+29.4%
販管費及び 一般管理費	3,840	30.5%	4,451	33.0%	611	+15.9%
営業利益 (損失)	△216	△1.7%	240	1.8%	456	—
経常利益 (損失)	△188	△1.5%	300	2.2%	488	—
当期純利益	△424	△3.4%	170	1.3%	594	—

I 2014年3月期 決算

II 2015年3月期通期 業績予想

## III 現在の取り組みと今後の状況

IV 株主還元

当社のリスク

- 受託開発型
- 公共分野の売上が7割を占める

労働集約型  
企業

対応策

- ◆ 商品・サービスの多様化  
(商品・サービスの開拓)
- ◆ 研究開発  
(新商品・新サービスの開発)
- ◆ 人材育成  
(技術力、提案力、コミュニケーション力)

知識集約型  
企業

1

**次期総合行政情報システムの開発**

2

**ジャパンシステム(株)と業務提携**

3

**新クラウドサービスの提供開始**

4

**番号制度などの法制度改正への対応**

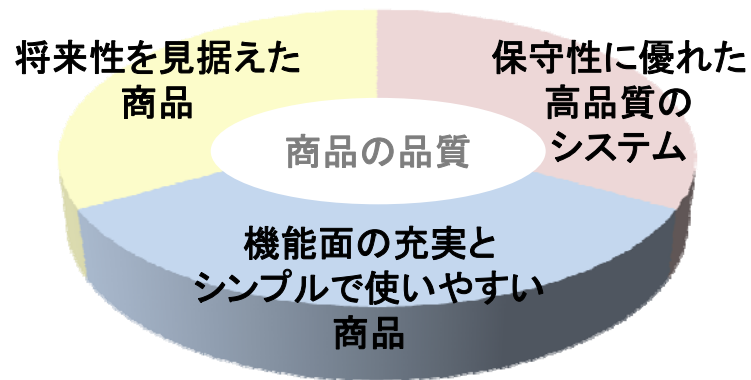
5

**積極的な人材育成**

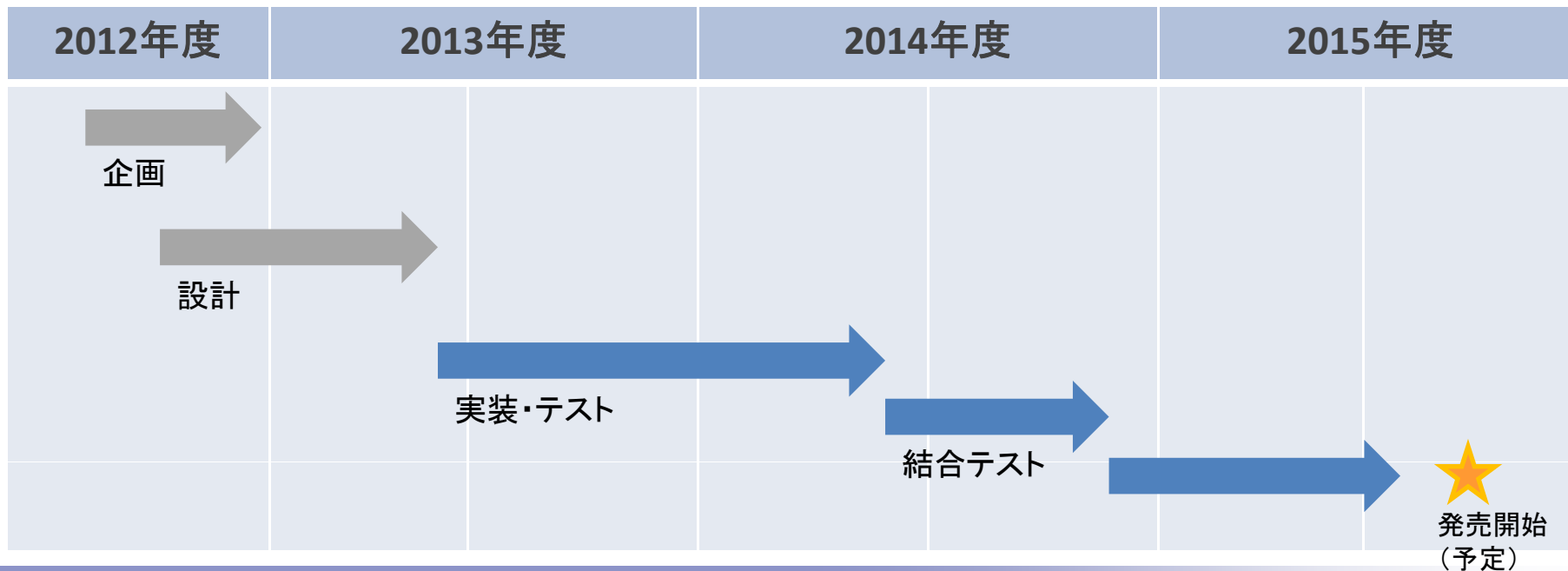
## 開発投資内容

- 発売開始時期 ……2016年1月
- 開発のための支出 ……約33億円

## 商品開発コンセプト



## 商品開発スケジュール



## ジャパンシステム株式会社との業務提携

- 2016年1月リリース予定の次期総合行政情報システムの財務会計ユニットにジャパンシステム(株)の新行政経営支援サービス「FAST」を組み込み、各種基盤の統合と業務間の連携を実現
- 「FAST」単体でのOEM販売を今年度から開始
- 業務提携により、両社における自治体財務会計システムの全国トップシェアを実現

### ジャパンシステム株式会社の概要

名称	ジャパンシステム株式会社 (JASDAQ:9758)
所在地	東京都渋谷区代々木1-22-1 代々木1丁目ビル
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 阪口 正坦
事業内容	アプリケーションソフトウェア開発、パッケージソフトウェア開発、コンピュータ機器等販売
資本金	13億259万円
設立年月日	昭和44年6月12日

2014年1月から  
提供中

## クラウドバックアップサービス (DataStore: データストア)の提供を開始

- 国内2カ所のデータセンターに分散してバックアップすることで、天災や、盗難・人為的事故からデータを保護し、簡単かつ低コストでBCP(事業継続計画)対策が実現できるサービスです。

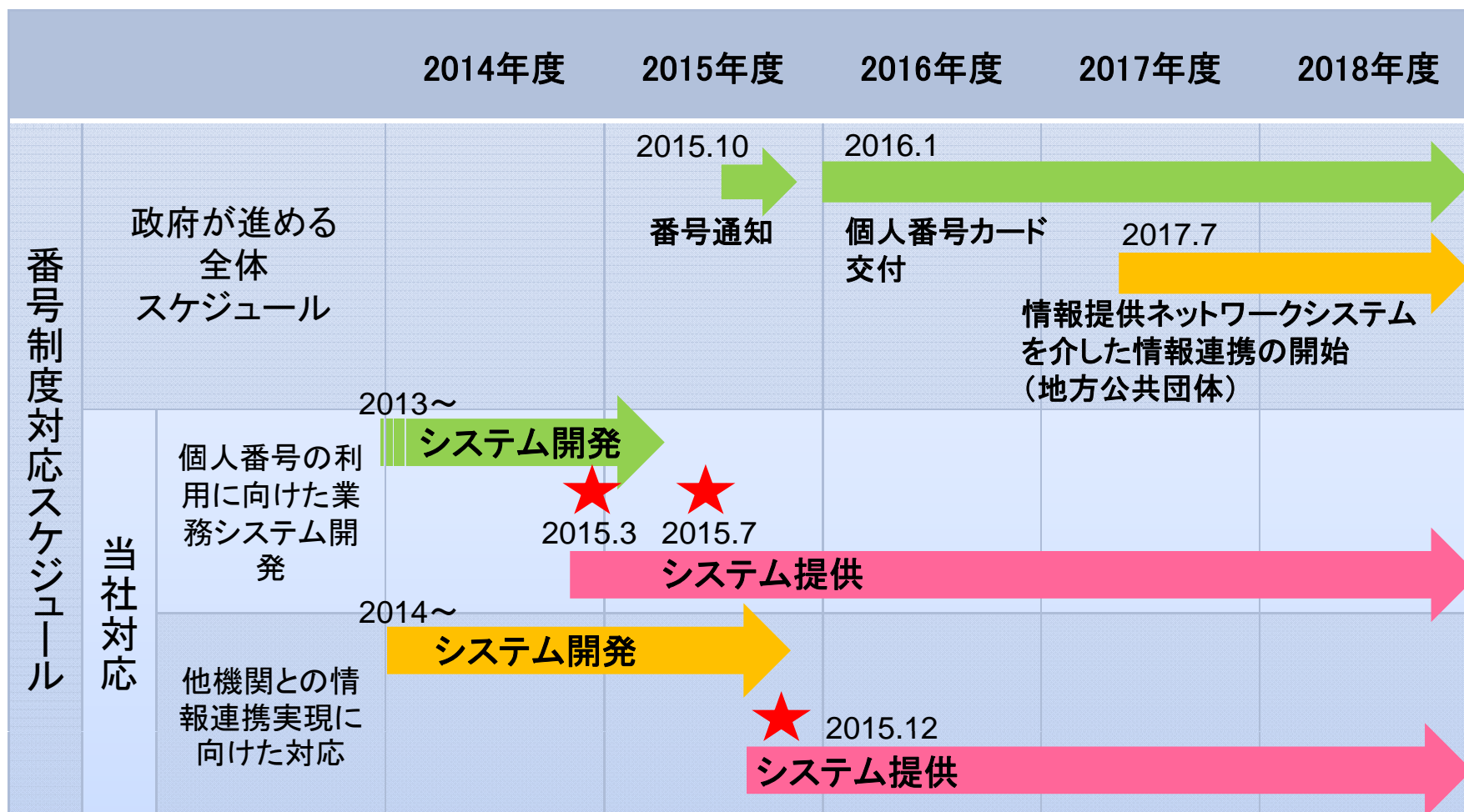
2014年7月  
提供開始

## 新クラウドサービス (AirCloud: エアークラウド)の提供を開始

- クラウドを基盤に、仮想サーバ(※)・バックアップ・ファイル共有・テレビ会議・名刺管理など、業種を越えて適用できる各種アプリケーションを用意したサービスです。



## 2016年1月の個人番号利用開始に向け システム対応を計画的に推進



- 番号の活用は段階的に進行
- それぞれの段階に適した業務システムの開発を計画的に実施
- 情報連携、民間利用を見据えた対応



4.民間へも!

3.行政分野で  
情報連携

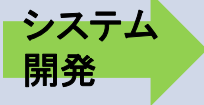


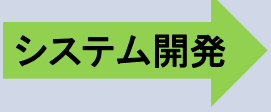





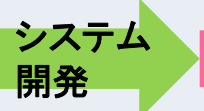



2.番号を利用する

1.みんなに  
番号をふる

こうやって  
進めたらいいのか!



# 今後想定される法律・制度改正等(番号制度は除く)

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
社会保障制度	臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金対応	システム開発  ★ 2014.7	支給開始(予定)		
	子ども・子育て新制度対応	システム開発 	施行 		
	介護保険制度改正	システム開発 	施行 		
	年金生活者支援給付金対応	システム開発 	施行 		
	国民健康保険の運営を市町村から都道府県へ移管		システム開発 	施行 	
評価替	固定資産税評価替	システム開発 	施行 	システム開発 	施行 

- 「2015年問題」対応及び、中高年層の知識の広がりをねらいとする、Java(※)技術者の養成研修
- 社外、海外での研修に積極的に参加することで、他社での経験の社内フィードバック、社外との技術者人脈の形成等も狙う

## 新たな 取り組み分野

- Java技術者養成研修 (Java初学者対象)
- 海外でのJavaレベルアップ研修
- 高度セキュリティ技術者の育成
- 高度情報処理技術者の育成
- オンライン英会話による英語能力向上支援 等

## 成長戦略分野

## 既存の 取り組み分野

- 新人研修、OJT研修
- マネジメントスキル、基本スキルブラッシュアップ研修
- ジョブスキル研修 (要求・要件定義、設計原則等) 等

I 2014年3月期 決算

II 2015年3月期通期 業績予想

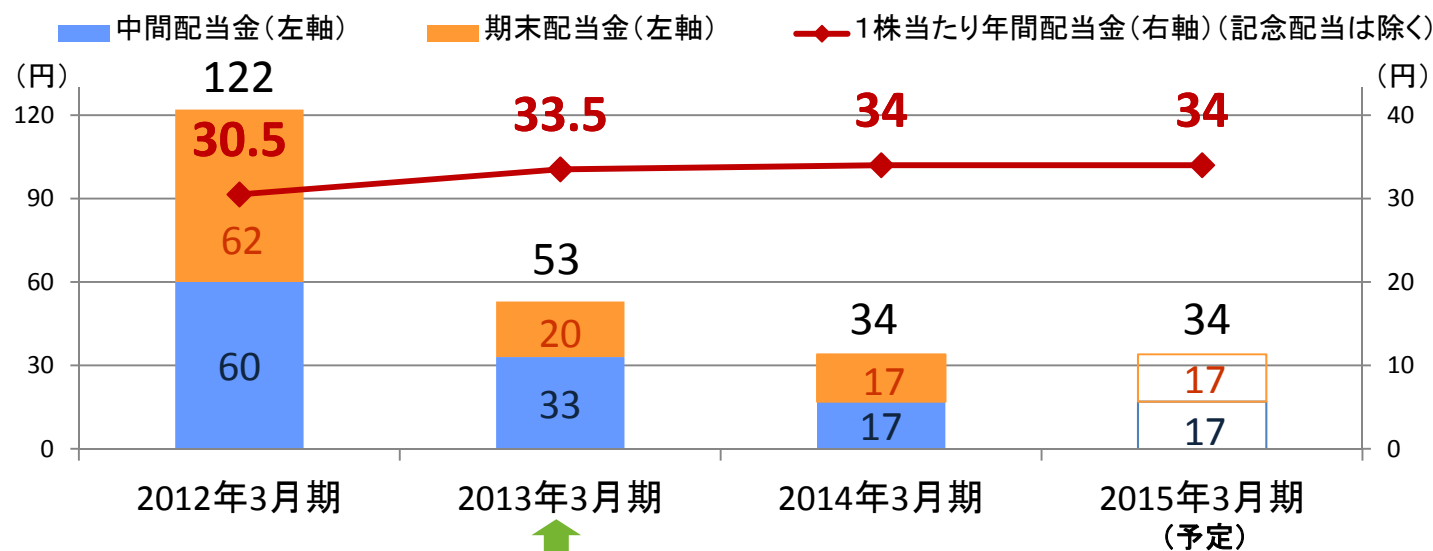
III 現在の取り組みと今後の状況

**IV 株主還元**

【配当方針】 中間期末、期末の年2回実施

【配当性向目標】 20%以上

1株当たり配当金	2014年3月期実績	2015年3月期
年間配当金	34円	34円(予定)
9月中間期末	17円	17円(予定)
3月期末	17円	17円(予定)
(配当性向)	—	116.7%(予想)



2012年 4月株式分割(1:2)、2012年10月株式分割(1:2)

## 4,000円分の三菱UFJニコスギフトカードを贈呈

### ◆対象株主様

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記録された  
100株以上を保有されている株主様

### ◆贈呈時期

毎年6月下旬 当社定時株主総会終了後、送付する決議ご通知に同封



本日はご清聴いただき  
誠にありがとうございました。

### IRに関するお問い合わせ

IRに関するお問い合わせ・ご質問は下記までお寄せ下さい。

株式会社 電算 経営企画部 IR担当 宛て

TEL: 026-224-6666 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除く8:30~17:30の間)

[ir@ndensan.co.jp](mailto:ir@ndensan.co.jp)

本資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、作成時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後経済情勢や市場動向の変化等、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料は、当社に関する情報提供を目的としたもので、投資勧誘を目的にしたものではありません。

掲載されている情報を投資、その他の目的に利用することが適切か否かに関する決定は、利用者ご自身の判断で行うよう、お願いいたします。



## 用語解説

本資料で利用している用語の説明です。

ここに示す解説は、本書内での意味を説明するものであり、必ずしも一般的な用法用例を包含するとは限りません。

### ■ データセンター

耐震性に優れたビルに高速な通信回線を引き込んだ施設で、安定した電源設備や高度な空調設備を備えている。またIDカード等による入退室管理や、24時間監視などでセキュリティを確保し、顧客のサーバー、データを預かり、保守・運用サービスなどを提供する。

### ■ クラウド

クラウド(雲)は広くインターネットのことを指す。従来は、利用者がハードウェア、ソフトウェア、データを自分自身で保有し、管理していたのに対して、これらを利用者が保有せずにインターネット経由で利用できるようにするサービス提供の形態。

### ■ 仮想サーバ

物理的には1台のサーバコンピュータを複数台の仮想的なコンピュータに分割し、それぞれを別のコンピュータとして使用する技術。物理的な機器の初期費用や管理の手間が省ける一方、負荷が増えてサーバの性能が劣化する懸念もある。

### ■ Java

プログラミング言語のひとつ。C言語に似た表記法を採用しているが、オブジェクト指向性を備えている点が大きな特徴。強力なセキュリティ機構や豊富なネットワーク関連の機能が標準で用意されており、ネットワーク環境で利用されることを強く意識した仕様になっている。